

⑫ 公開実用新案公報(U)

平3-109988

⑬ Int. Cl.<sup>3</sup>

B 62 D 55/253

識別記号

E  
C

庁内整理番号

6948-3D  
6948-3D

⑭ 公開 平成3年(1991)11月12日

審査請求 有 請求項の数 1 (全2頁)

⑮ 考案の名称 高弾性ゴムクローラ

⑯ 実 願 平2-19041

⑰ 出 願 平2(1990)2月26日

⑱ 考 案 者 加 藤 祐 作 広島県福山市山手町2801-4

⑲ 考 案 者 内 山 剛 広島県福山市東深津町2丁目155番地

⑳ 出 願 人 福山ゴム工業株式会社 広島県福山市松浜町3丁目1番63号

㉑ 代 理 人 弁理士 倅 熊 弘 稔

㉒ 実用新案登録請求の範囲

内部中央に転輪や遊動輪の外れ防止のために一定間隔で突出形成する一対の角状突起を含む内周層をウレタンゴムで、これと反対する接地面側のラグを含む外周層を天然ゴム又は合成ゴム或いは天然ゴムと合成ゴムとの混合ゴムなどの加硫ゴムで異ならしめ、且つ上記内周層と外周層の何れか片方、或いは双方の境界面附近には高強度の補強布を埋設した構成を特徴とする高弾性ゴムクローラ。

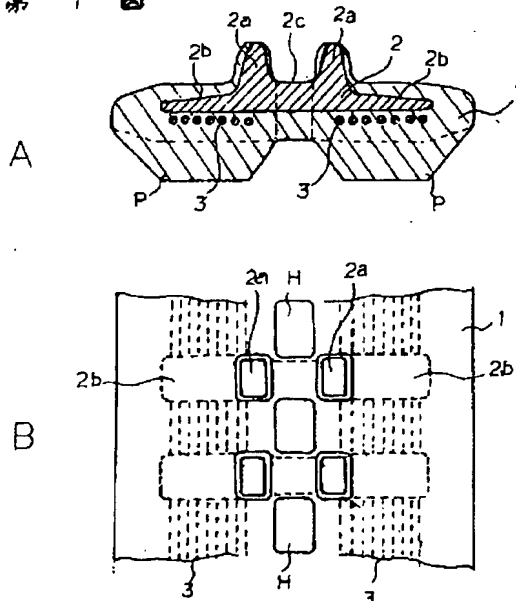
図面の簡単な説明

第1図は従来のゴムクローラを示すものでAは

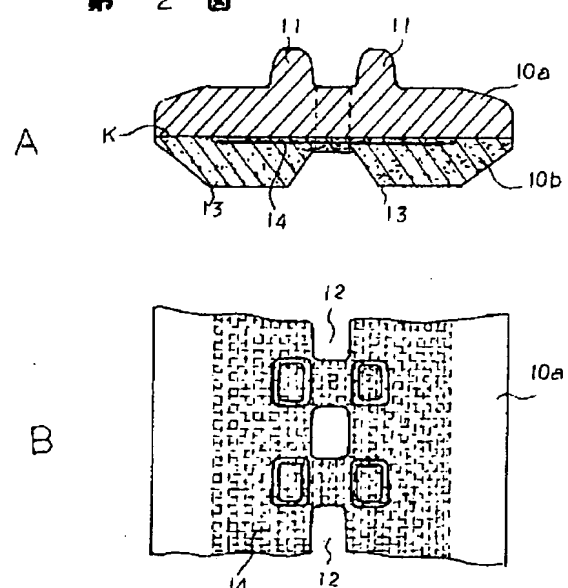
巾方向断面図、Bは同平面図、第2図は本考案に係る高弾性ゴムクローラを示すものでAは巾方向断面図、Bは同平面図、第3図及び第4図は他の例を示すもの、第5図A、Bは本考案に係る高弾性ゴムクローラの製造説明図、第6図は更に他の例を示すもの、第7図は上記例の変形例でAは内周層の斜視図、同B全体斜視図である。

1……ゴムクローラ本体、2……芯金、10a……内周層、10b……外周層、11……角状突起、14……補強布、15a……上型、15b……下型、K……境界面。

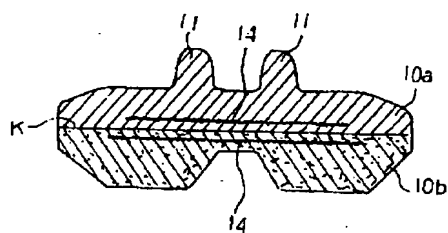
第 1 図



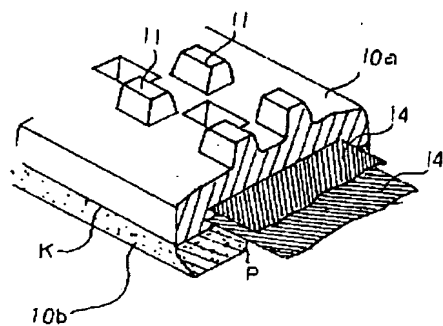
第 2 図



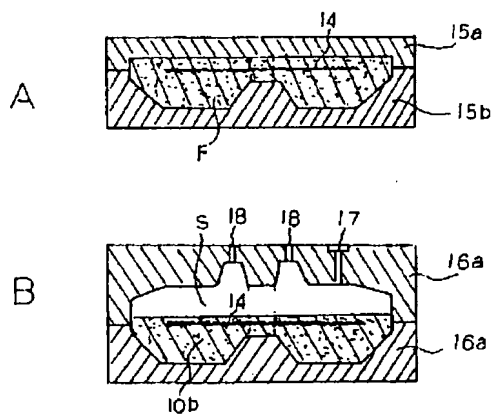
第 3 図



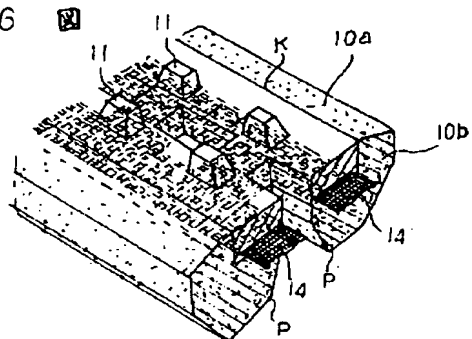
第 4 図



第 5 図



第 6 図



第 7 図

